

広報 のみ

Nomi City News Letter

1月号

2020 No.180



アジア射撃選手権大会 銅メダル
平田しおりさんが
能美市表彰
スポーツ特別賞

市長・議長
年頭のご挨拶

地域福祉の増進・児童健全育成のために活動
民生委員・児童委員が改選されました

動画で、よりわかりやすく確認
「今月の手話」の動画配信を開始しました

お互いに話し合い、学び、体験
まなびフェスタ 2020 参加者募集

賀 新 年

能美市長 井出敏朗



令和時代初の新春を過ごし、皆様には健やかに過ごすごしとお慶び申し上げます。日頃より市政運営にあたたかいご支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年は、元号が平成から令和に改まり、日本の繁栄と平和に感謝するとともに、輝かしい未来に花開き、希望に満ちあふれた新時代の幕開けとなりました。そして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、能美市出身のアスリートが活躍した年でもありました。鈴木雄介選手は世界陸上競技選手権大会で金メダルを勝ち取り、平田しおり選手はアジア射撃選手権大会の女子ライフル3姿勢で銅メダルに輝き、両選手ともにオリンピック代表に内定いたしました。ひたむきに頂点をめざすお二人の姿に感動と勇気をいただきました。世界の大舞台でのご活躍を願ひ能美市民一丸となって応援してまいりますと思っております。

一方では、人口減少と高齢化に向けた課題解決は急務となっております。子育てを丸ごと支援す

る施策や辰口中央児童館の整備、のみバスの運行改善に着手し、子育て・住環境の充実に取り組んでまいりました。能美根上スマートインターチェンジを利用する車両台数も好調で交通アクセスの向上を背景に福島グランパーク造成開始早々に企業から進出表明をいただき、周辺の企業集積と雇用の創出が図られるものと期待をしております。また、近年自然災害による被害の甚大化から市民の生命・財産を守る「安全・安心のまちづくり」への取り組みも欠く事はずみず、国土強靱化に向けた準備に着手いたしました。加えて、新たに策定した「能美市観光戦略」「能美市観光アクションプラン」は、市民満足度の高い魅力あふれる個性的なまちづくりの羅針盤としてまちの賑わいと活力の創出につながっていくものと確信をしております。

いよいよ今秋には、新博物館がオープンします。館内では、能美の美しい自然を紹介する大型ジオラマが来館者をお迎えします。楽しく体験しながら学べることもミュージアムのほか、展示室では悠久の歴史を肌で感

じられるよう趣向を凝らした展示を企画してまいります。ここを拠点に、まち全体をミュージアムに見立てた散策プランも計画するなど、何度でも訪れたくなるような手作りの博物館を目指します。

本年2月には合併15周年、2023年には北陸新幹線県内全線開通、加賀立国・能美郡誕生120周年となる節目の年を迎え、これからの5年は本市にとって時代の大きなターニングポイントとなります。先人の築いた地域の魅力を切れ目なく次世代につなぎ、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを推進するため、国連で採択されたSDGsの理念に基づき、子どもから高齢者まで、外国人や障がいのある方も含めた皆様が安全、安心、快適に暮らし続けられるまちを目指して、オール能美で取り組んでいきたいと考えています。

本年が皆様にとって「したいこと、能美市だったら叶うかも」が実現され、ご健勝で幸多き年となりますよう心からお祈りいたします。年頭のあいさついたします。

能美市議会議長 居村清二



謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

皆様には、令和になって初めての新春をお健やかに迎えることと拝申し上げます。また、日頃より、市議会にお寄せいただいておりますご意見やご要望に対する議会の諸活動にご理解とご協力を賜り、衷心より厚く御礼を申し上げます。

昨年の12月定例会において、議員各位のご推挙により第16代議長に就任させていただきましたが、その職責の重さを改めて自覚するとともに、能美市議会に対する市民からの信頼を高めていただけるよう、より一層の努力を重ねてまいります。

さて、能美市議会では、議会における最高規範として平成26年3月に制定された「能美市議会基本条例」に基づき、議会の活性化を図っており、その一つとして、市民との意見交換会を行っています。

「能美市手話言語条例」の制定を受けて、昨年2月には、聴覚に障がいのある方々との意見

交換を行い、また、5月に行われた「人手不足の深刻化」をテーマとした小売業などの事業主との意見交換では、企業説明会で能美市を知らない学生が多く、能美市の説明から始めており、「一時的に県外等に出ても能美市へ戻りたくなる支援策や市の魅力づくり、能美市で働こう」という気持ちになる支援策をお願いしたい」とのご意見をいただきました。8月には、市内3中学校の生徒を対象に議場で模擬議会形式の意見交換会を行い、生徒の皆さんも議場の質問や答弁を聞くという貴重な体験をおして、議会を知る大変良い機会になったものと思っております。

いずれも、議会広報紙『のみだより』に詳細が掲載され、市ホームページ「市政・議会」からもご覧いただけます。これらの意見交換会でいただいた貴重なご意見を、市政に反映できるように、議会としても取り組んでまいります。

当市議会では、鋭意、議会改革を進めておりますが、昨年は

3つの常任委員会を2常任委員会に減らし、また、議員定数の削減については3月の議会定例会での条例制定に向けて取り組みたいと考えております。

今後も前例にとらわれることなく、市民の皆様により分かりやすく、より開かれた議会を目指してまいりますとともに、さらなる市の発展と福祉の向上を図り、諸課題の克服に向けて引き続き取り組んで行く所存でありますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は「子」であります。ねずみは多産であることから、子孫繁栄の象徴とされ、また、五穀豊穡の神であり、能美市においても、今後とも人口が増え続け、豊かな実りが増えらされる年となることを願うものであります。

皆様のご一年のご健勝とご多幸を心から祈念を申し上げます。年頭のあいさついたします。